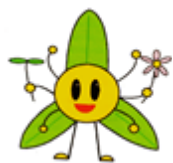


平成28年6月17日



柿の木

花と緑と思いやりひとみ輝く二小の子

▽思いやりのある子ども

▽進んで学ぶ子ども

▽力いっぱい活動する子ども

<http://www.edu.city.koriyama.fukushima.jp/asaka2-e/>

文責 齋藤 和代

朝食を見直そう週間

6月11日から本日17日まで「朝食を見直そう週間運動」が実施されています。チェック表記入などでご協力いただいているところです。

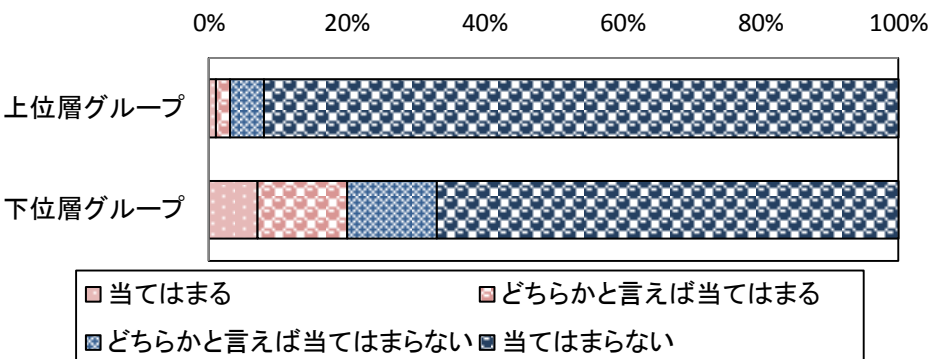
なぜこのような運動が実施されているのでしょうか。表Aは、先週もご紹介した仙台市の「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト」がまとめたデータの一部です。仙台市標準学力検査の成績をもとに、上位層グループ（仙台市全体の上位25%に入る生徒）と下位層グループ（仙台市全体の下位25%に入る生徒）の朝食摂取状況です。

さらに、表Bは、昨年度のお便りでもご紹介した全国学力・学習状況調査での、朝ごはんの摂取と学力の関係というグラフです。（学力の方だけが、よく話題となっていますが、学習状況も毎年調査しています）どちらの表からも、朝ご飯と学力との明らかな因果関係が見て取れます。（裏へ続く）

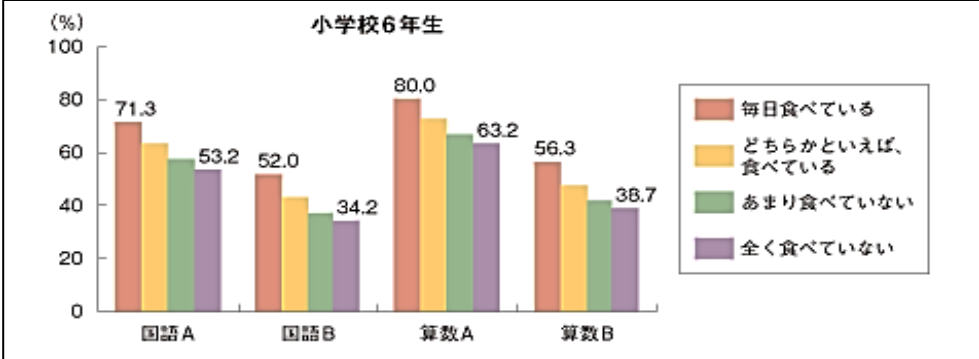
表A



Q朝食を食べずに登校する日がありますか？



表B



表Bを見ると、食べている子とそうでない子との得点割合の平均の差が国語A18.1% 国語B17.8%, 算数A16.8%, 算数B17.6%と、それぞれ2割近くあります。

これには訳があります。それは、朝食には体と頭にエネルギーを補給する大事な働きがあるからです。脳の神経細胞はブドウ糖のみをエネルギー源としています。しかし、それをエネルギーに変えるためにはビタミンや鉄・タンパク質なども必要です。

したがって、すべての脳の働きと朝食のおかずの品目数とも相関関係があり、「おかずが多いほど、良い脳を持っている」とも言えるのだそうです。

朝抜きだと、授業では2割程度少ない力でしか自分の力を発揮できないということです。さらに、高校・大学入試や就職試験でも2割引の力で勝負することになります。

1点差でも当落が決まる場面でこの能力差が出ることは人生においても大問題です。朝は忙しいですが、子どもの頃から良い習慣を身に付けさせる機会として、朝食を見直そう週間を活用したいと思います。

交通事故防止



市内では児童生徒の交通事故が多発しています。本校でも気をつけたいと思います。下記の点、確認いたします。

- (1) 何があっても、飛び出しは絶対にしない。
- (2) 道路を横断するときや、信号がない交差点では一時停止し「右」「左」もう一度「右」を見て、車が来ないことを確認する。信号がある交差点では、信号が「青」でも、車が来ないことを確認する。
→下校時に、押しボタンの青信号で飛び出し、ハッとすることがあります。
- (3) 「止まれ」の標識では必ず止まって、車が来ないことを確認する。
→自転車と車で出会い頭の衝突という事例があります。
- (4) 自転車に乗るときには、ヘルメットを必ずかぶる。
- (5) 車や自転車に接触するなどの事故に遭ったら、大人に知らせて、相手の名前と連絡先を確認し、その場で保護者や学校に連絡する。
→つい「大丈夫」と言ってしまう、あとで連絡先もわからなくなってしまうという事例が多くあるそうです。

週の予定



月 日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
6月20日	月	○児童集会（5年生・保健委員会発表）	5	5	5	5	5	5
21日	火	○PTA会長会、県P研修会実行委員会	5	5	5	6	6	6
22日	水	○キッズシアター（下学年のみ） ○弁当の日 ○PTA広報委員会	5	5	5	6	6	6
23日	木	○安積地区サポートチーム総会	5	5	6	6	6	6
24日	金	○ジェームズ先生来校	4	5	5	5	5	5
25日	土	○週休日	・	・	・	・	・	・
26日	日	○週休日	・	・	・	・	・	・